

今年の町家巡遊は、外国から金沢に移住した方などで、金沢町家に住んでいる方や活用されている方の建物を拝見し、お話を伺います。お邪魔したところ、みなさん予想以上に町家暮らしを満喫されていました。真似したくなる工夫やアイデアもたくさん。ぜひご覧あれ!

## 10/19 (土) 石引エリア ISHIBIKI TOUR & TALK



- ① 9:30-10:30 「謝さんと石引さんぽ」  
台湾の台南で8棟の宿を営み、2020年には石引に宿を開業予定の謝文侃さんと、  
工事中の物件を見学し、謝さんの視点で石引を歩きます。500円(お土産付き) ※要予約



- ② 11:00-12:30 謝さんトーク「金沢の町家と台南の老屋」  
会場: 石引パブリック 1,000円(ドリンク付き) ※要予約

★ご予約 RESERVATION 10/1(火) 10:00～  
kanazawa-machiya@nifty.com / 076-254-0647 (10:00-17:00 / 土日祝休)



謝文侃 シェウエンカン  
小五(シャオウ)こと謝文侃は、生粋の台南人です。海外留学から戻った後、台南の古い家屋が日に日に失われていると感じ、仲間と共に「老房子倶楽部(古民家倶楽部)」をつくりました。さらに、築40年の自宅を改築し、(今では台湾で最も有名な宿の一つとなった)「謝宅」をつくり、古民家を活性化の可能性を探求しています。かつて台南は、旅の途中の乗換点に過ぎず、長い間、もっと多くの人々に台南愛を伝えたい、そしてそれを具体的な形にしたいと思っていました。いま、「謝宅」という場で、「一晩でも多く台南に泊まってもらえば、もっと台南を好きになってもらえる」と信じて、台南ライフをみなと分かち合っています。

## 10/20 (日) 笠市町エリア KASAICHI-machi OPEN HOUSE & TALK



- ① 10:00-14:00 ファン邸見学  
② 10:00-14:00 紙谷漁網店現場見学  
飲食・宿泊・花屋がシェアする予定の大型町家、  
工事中の現場を見学できます。



- ③ 13:00-16:00 まちの踊り場見学(瓢箪町7-6)  
貸切宿として生まれ変わった徳田秋聲ゆかりの町家を公開。  
④ 14:00-15:00 ファンさんトーク「金沢の庭園」  
会場: まちの踊り場(瓢箪町7-6)  
参加費 1,000円(先着20名に書籍プレゼント) ※予約可



- 笠市郵便局前で公開場所をご案内します。



ファン・パストール・イヴァールス Juan Pastor-Ivars  
スペイン・デニア生まれ。2004年ヴァレンシア工科大学で建築設計修士を取得。2009年に来日し、京都工芸繊維大学で建築設計修士を取得。2015年ヴァレンシア工科大学で建築設計博士(日本庭園)を取得する。「間と奥、七代目小川治兵衛と近代日本庭園」と題した博士論文を執筆。国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット研究員として、2016年より金沢在住。浅野川にほど近い金沢町家で、地域のコミュニティと深く関わりながら、町家暮らしを楽しむ。



④先着20名に  
書籍プレゼント  
『金沢の庭園が  
つなぐ人と自然』

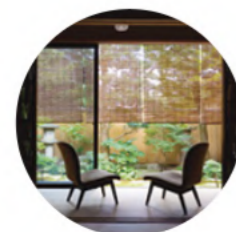
## 10/22 (火祝) 兼六元町エリア KENROKUMOTO-machi OPEN HOUSE & TALK



- ① 10:00-15:00 ディキシット邸見学  
② 10:00-16:00 吉田邸見学  
ディキシット邸から歩いてすぐ、若い家族が住む素敵な町家を見学できます。  
③ 15:00-16:00 ディキシット夫妻トーク「金沢町家での生活」  
会場: ディキシット邸 聞き手: 金沢町家研究会 参加費500円(瓦マスキングテープ付き)



- 中央消防署味噌蔵出張所付近で公開場所をご案内します。



ディキシット夫妻 Mr. & Ms. Dixit  
夫はネパール出身、妻は東京都出身。2010年頃に金沢を訪れた際に、町家の残る町並みを見て移住を希望。NPO 法人金沢町家研究会「金沢町家流通コーディネート事業」を利用し、2015年に金沢市内で昭和初期建築の近代和風住宅の町家を購入。2017年に20年以上過ごしたシンガポールから金沢へ移住した。部屋の配置用途変更や塀の撤去などにより、座敷の庭が日常の中心となっている。近隣への開放性も兼ね備えた二つの庭をもつ、庭を楽しむ町家。



## Traditional Kanazawa Townhouses Tour

# 金沢町家

# 巡遊2019

What brings you to Kanazawa Machiya?

10.19 Sat. 20 Sun. 22 Tue.



ユーは何しに  
金沢町家へ?



### ご注意 NOTICE

会場やご近所の方へのお心づかいをお願いします。



写真撮影は  
ご遠慮ください。



柱・壁・建具・家具などに  
ふれないでください。



敷居や畳縁を  
踏まないでください。



裸足NG! 雨の日はタオルや  
替えの靴下を。

### こっそりジロジロたのしい町家



一見洋風で新しい  
隠れ町家を探そう!



釘隠し  
引き手  
細部に目を凝らそう。  
縁起物モチーフ多し。



昔の畳の芯材は藁。  
藁床の畳はふかふか!

### 金沢町家とは

昭和25年以前に建てられた木造住宅の総称。武家・足軽屋敷、町家、近代和風、洋館等、建築様式は多様ですが、風土文化に応じた職人技が随所に見られます。金沢市内に約6000軒ありますが、年間約100軒が壊されています。



### 金沢町家研究会とは

建築家・技術者・大学教員・町家の住まい手らの集まりで、金沢町家の活用・再生・継承を目的に、必要な調査研究、普及啓発、実践活動などを、行政と連携しながら取り組んでいます。2008年より毎秋に開催している「町家巡遊」は、金沢町家を巡り、建物見学・展示・レクチャー・体験・飲食などを気軽に楽しみながら、町家の魅力を体感できるイベントです。

金沢町家巡遊2019  
代表: 坂本英之 スタッフ: 橋本浩司 古村尚子 栗田均 北出健隆 奥村久美子 細野美希  
構成: 岩本歩弓 デザイン: 田中聡美 題字: ファン・パストール・イヴァールス

金沢町家研究会事務局 ☎076-254-0647

〒920-0854 石川県金沢市安江町4-20 FAX: 076-254-0657

✉ kanazawa-machiya@nifty.com URL: kanazawa-machiya.net

"Kanazawa Machiya" is used as an inclusive term in order to call the traditional timber-framed buildings built by 1950 in Kanazawa City, which includes samurai houses, townhouses, and modernized Japanese houses. Although their types are diverse every building has attractive traditional craftworks adapted to the local climate and culture. Around 6,000 buildings have still remained in Kanazawa City and more than 100 ones are destroyed every year.

# ファンさんの町家暮らし

京都に6年、東京に8ヶ月住んだのち、  
金沢には2016年7月に住みはじめて4年目。

3月と6月には  
うぐいすが鳴きます。



仕事が落ち着いたら、  
庭作りしたいです。



床の間の上部に  
スピーカーが  
隠れています。



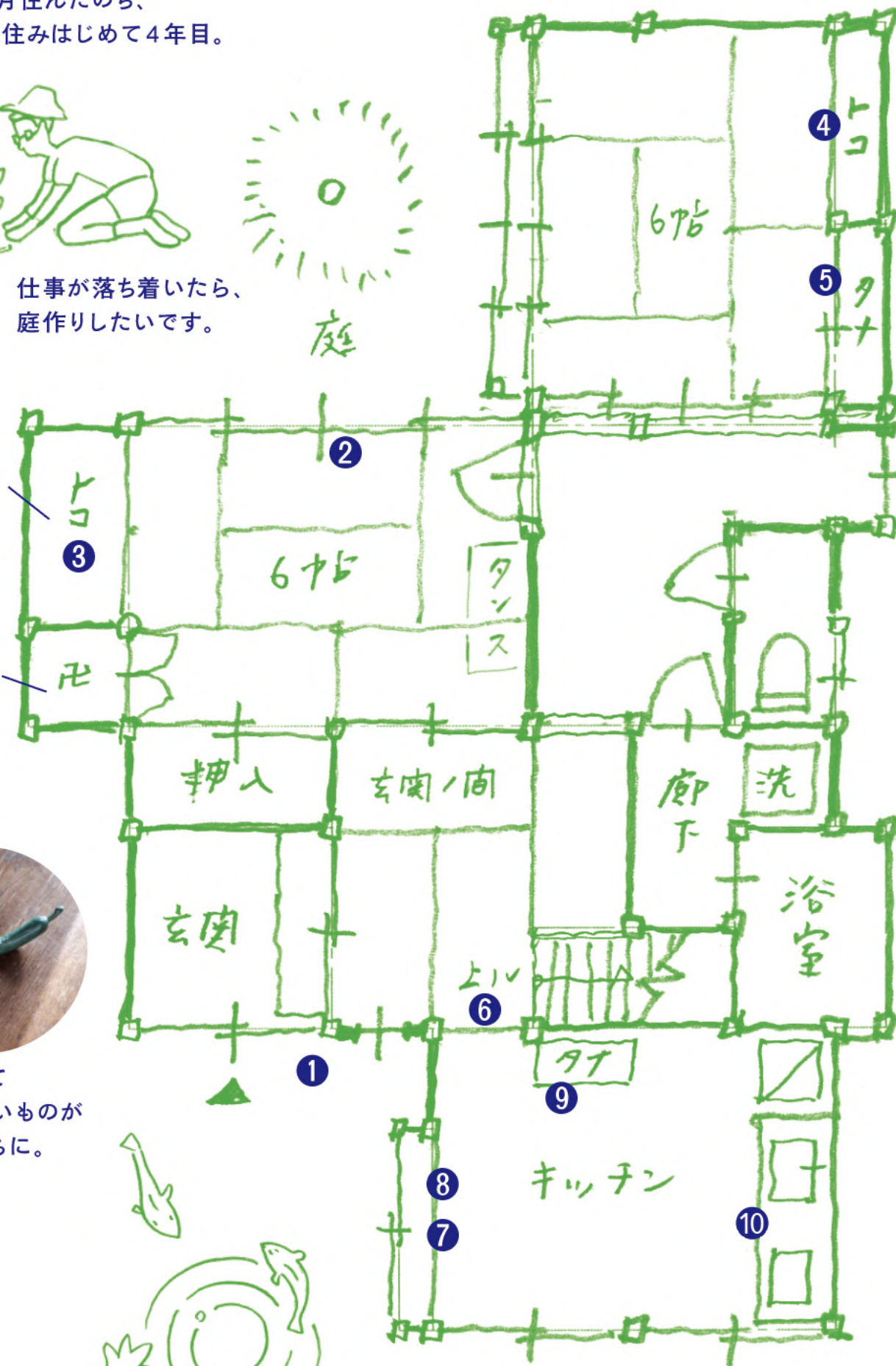
干し柿乾燥中。



小さくて  
かわいいものが  
あちこちに。



ディテールがよくて、  
町家は宇宙みたいです。



【1階】

夏は1階で寝ます。

京都時代から  
山伏の修行をしています。



風が吹いたときの窓の音。  
町家は音も楽しめます。



棚の上に米びつ。



音楽を聴きながら  
コーヒーを飲みます。

町家は、材料が良いから、  
家が生きているみたい。



釘隠しは松!  
町家には職人の  
作ったものがたくさん。



雪見珈琲



町会長さんが町会に誘ってくれて以来、  
濃くてゆたかなご近所づきあひがあります。



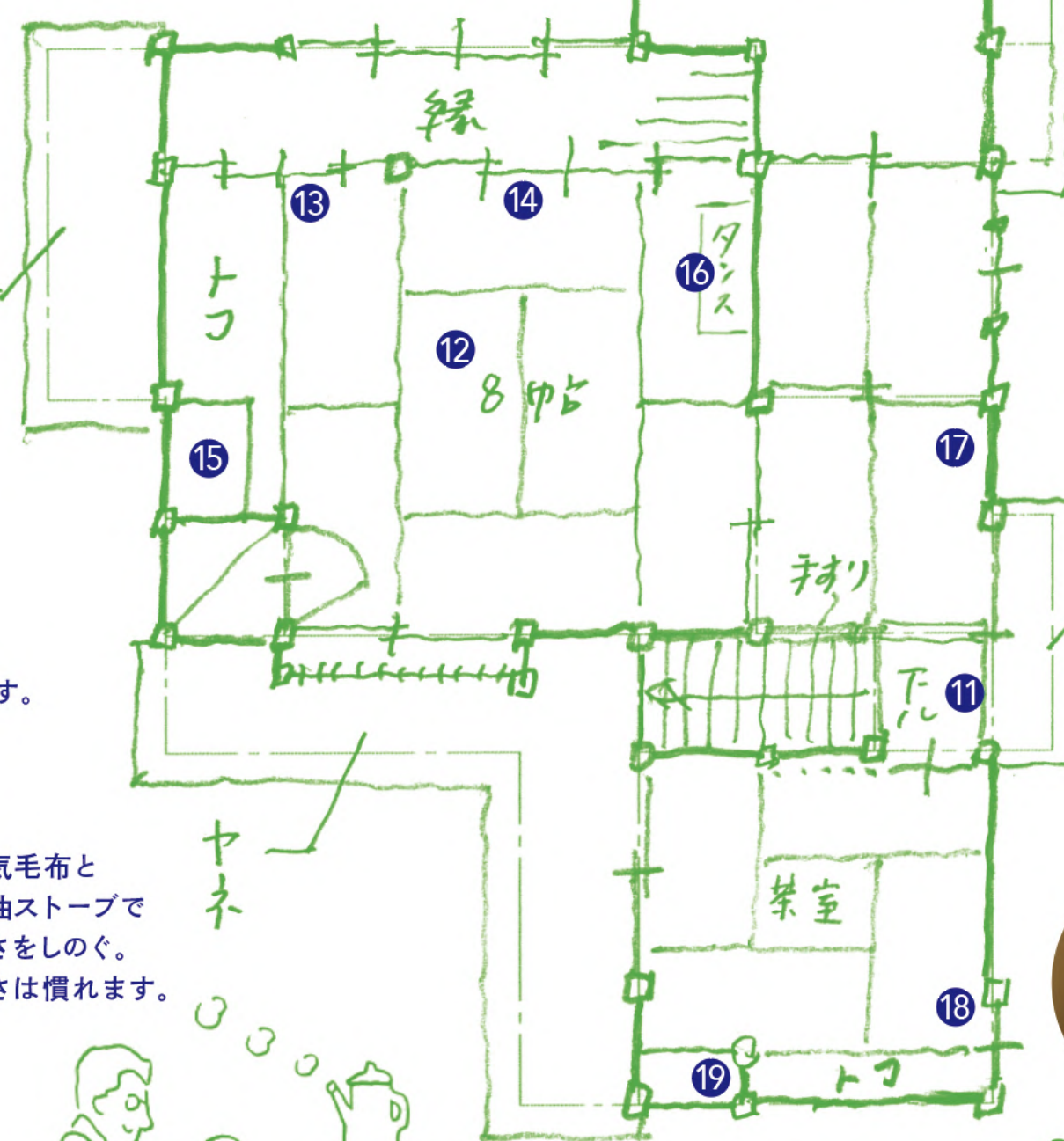
時々お隣りのおじさんと  
スーパー銭湯へ行きます。

部屋は年々シンプルに。物や家具が少ないと、  
量や光や影など、町家の美しさを感じられます。

冬は2階で寝ます。



夕方の16:00頃の光が  
とてもきれい。



【2階】



足の裏は、量の  
よい素材を感じると  
うれしくなります。

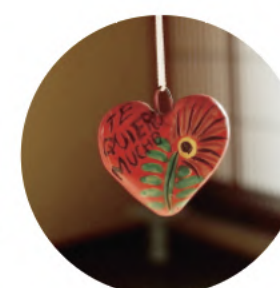
運動会や  
ボウリング大会にも  
積極的に参加します。



もちろん  
雪かきや  
ゴミ出しも。



趣のある机は京都から。



照明のヒモの先に  
ハート。スペイン語で  
"I miss you."と。



① 玄関先の金魚鉢は火鉢。篩(ふるい)をかぶせて猫よけに。② 庭に面した窓には、網戸がわりに網を張った。枠がないので庭がきれいに見えます。③ 床の間の掛け軸は小松砂丘画。「おくりえ」で入手。④ 奥の部屋の床の間には法螺貝が。京都時代から山伏の修行をしています。毎年、京都の山伏仲間と能登へ修行に行く。⑤ 全国各地の焼き物コレクション。⑥ キッチン入口のれんはスライド式!両手で料理を持って通るときに便利。⑦ キッチンの窓辺には趣味のコーヒー道具がずらり。⑧ 「おくりえ」でもらった棚。上段は大桶焼、下段は越前焼。⑨ おなじサイズの瓶が棚板を支えるという画期的なアイデア! ⑩ 料理好きのファンさん。シンクが低くて大変そう。⑪ 階段を上ると足元の地窓から風が抜ける。⑫ 「この部屋は夕方の光が一番きれいです」とファンさん。⑬ 美しい座敷の建具。⑭ 夏は一階で冬は二階で寝る。横になるとガラス戸越しに月が見える。⑮ 山牛蒡味噌の伝統パッケージを吊るす。⑯ 桐箆筒の上にディスプレイを置いて映画を観ることも。⑰ 友人が作ってくれたミニチュア枯山水。⑱ 茶室の丸窓。⑲ 床の間横の下地窓には矢羽根が。⑳ 洋間の押入れの棚板が机がわりのPC台に。㉑ 日本庭園の研究をしているファンさん。むずかしそうな本がどっさり! ㉒ 年賀状の下絵。俳句を一句書き添えて。色を塗る前に何十回も描き直す。「今年は忙しすぎて描けませんでした」。